

農業方面

専賣制の

一歩手前 (一)

▲何故米穀管理は実施されたか、去る九月十七日の閣議で決定された明年度米穀対策は、生産者たる農民は勿論全國民にとつても、寧ろ大關心と非常時意識を昂揚せしむるは、おなじ重大問題であつた。戦時下食糧品の確保には一方において積極的増産を圖ると共に、他面配給や消費の合理化を徹底せしめる必要がある、即ち生産部門における大増産、配給消費部門における配給路の整備と消費規正の確立がこれである、三者一体の対策が實行されて始めて現下の米穀対策は一應整備されたと見らるべきで、今因政府が發表した農家消費米を除く約三千六百五十萬石の米穀の國家管理こそは同月十日から實施中の米穀配給統制規則による配給ルートとの準備と相俟つて、消費の高度規正を意味するもので配給消費部門の新体制の確立と見て差支へない。

一周知の如く、政府は昨秋以來の米穀事情に鑑みこれが緩和の対策として政府の買上げ米の制管を實施したり、府縣別ブロック内の需給調整に手を染め、或は農相の談話にある如く一酒類製造高の制限、代用食の奨励、米穀搗精歩合制限一を行ひ一或は外米輸入等の方法を行つて「来たのである、これ等の方法は農民を始め一般民の自覺によりかたりの成功を収め得、相當以上米穀事情の危機を緩和し得たのであつた。

「訂書は無量で」

三行園

無盡城

命の御用内

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

内科、小兒科

大森醫院

醫學士 大森 勇

平市南町 電話二五八番

應入 需院

專門 皮膚科 泌尿器科 性病科

診療時間 午前八時より 午後九時まで

醫學博士 江尻伊三郎

平市南町 電話六九一番

院醫尻江

平市南町(三丁目裏川岸通)

明雲堂眼科醫院

電話六六九番

入院應需(自炊の便あり)

大小の御宴會にホール

御家族の御同伴に御座敷

いつも材料を吟味して居ります

マルトモ食堂

平市南町(電話二二三番)

内科、小兒科 外科、花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

平市南町 電話五二三番

高久病院

院長 醫學士 高久忠

根本 婦産科醫院

平市南町

根本 莊次郎 根本 貞雄

電話三四番

(入院隨時)

平市南町

高橋商店

電話六四一番

附屬産院 新設

妊産婦入院隨意

産婦人科

木村病院

平市新川町 電話一六四番

新時代の要求

経済的を御便 宜御用命を 願ひ致します

平市南町 電話三〇七

平看護婦會

御手不足の御家庭 輕い御病人の付添 妊産婦の御家庭

カバと洋品類

平市南町(前驛、市平) 電話五六

眞砂屋

平病院 (平市元公共病院跡)

院長 醫學博士 鈴木定藏

内小兒科 院長 鈴木定藏

内一般外科 副院長 高橋俊幸

皮膚泌尿器科 院長 鈴木定藏

物理療法科

藥劑科 部長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで 夜間診療に従事す(急患は此の限りにあらず)

債券、公債 兩替、金融

多田井質店

平市大工町 電話五九一番